

第2回革新炭素繊維基盤技術開発中間評価検討会議事要旨

1. 日時 平成26年2月17日(月) 14:00~15:30

2. 場所 経済産業省本館17階 第5共用会議室

3. 出席者

(検討会委員) [敬称略・五十音順、※は座長]

大松沢 明宏	日本化学繊維協会技術グループ主席部員
※久保 司郎	摂南大学理工学部機械工学科教授／大阪大学名誉教授 ／(一社)日本機械学会筆頭副会長
永尾 陽典	神奈川工科大学大学院工学研究科教授
林 直義	(株)本田技術研究所 社友 元(一財)日本自動車研究所理事
丸山 正明	技術ジャーナリスト

(研究開発実施者)

影山 和郎	東京大学大学院工学系研究科技術経営戦略学専攻教授
羽鳥 浩章	(独)産業技術総合研究所エネルギー技術研究部門総 括研究主幹

(事務局)

尾畑 英格	製造産業局繊維課長補佐(技術担当)
金澤 洋	製造産業局繊維課技術係長
五十嵐 幸子	製造産業局繊維課行政事務研修員(技術担当)
田中 伸彦	産業技術環境局研究開発課企画官

(評価推進課)

加藤 二子	産業技術環境局技術評価室技術評価一係長
-------	---------------------

4. 配布資料

資料1 第1回評価検討会議事録(案)

資料2 評価報告書(案)

参考資料1 経済産業省技術評価指針

参考資料2 経済産業省技術評価指針に基づく標準的評価項目・評価基準

参考資料3 平成23年度事前評価報告書(概要版)

5. 議事概要

(1) 第1回評価検討会議事録の確認について

事務局から資料1により第1回評価検討会議事録(案)の説明があり、議事録が了承された。

(2) 評価報告書(案)について

事務局から、資料2に基づき、革新炭素繊維基盤技術開発評価中間報告書(案)について説明が行われ、審議の後、一部修正を行うこととして評価報告書(案)が承認された。また委員および事務局より評価報告書(案)について一部誤字修正について提案があり、了承された。なお、修正の確認など最終的な報告書の取りまとめについては座長一任で行うこととされた。

主な意見等は以下のとおり。

- ・「異形状断面を有する炭素繊維についても高いポテンシャルがある」とあるが、ポテンシャルは炭素繊維ではなく異形状化による高機能化にあるものと思うので、書きぶりを修正していただきたい。
- ・特許出願と成果発表件数について続けて記載されているが、成果発表と特許出願は目的の違う活動であるので、横並びに表記するのはおかしいように思う。発表件数が多く、また知的財産の確保にも努めている、といった書きぶりがよいのではないか。
- ・コンペティターを含む合同プロジェクトについて国のプロジェクトのあり方に関して述べた文章があるが、今回は事業に関する評価であるので、炭素繊維の開発に特化して論じるのがよろしいのではないか。

(3) その他

事務局から、本評価検討会で了承された評価報告書(案)は、産業構造審議会産業技術環境分科会研究開発・評価小委員会評価ワーキンググループで審議され、了承を得た後、経済産業省ホームページで公開されるとの説明があった。

以上